

# いわたちん ちヨウ酒蔵に 関する 予算 減額

# みぞぐちとし



先月から各新聞でまた今議会の代表質問や一般質問でも、このクンチョウ酒蔵酒蔵群の問題が大きく取り上げられました。

発端は、昨年2月クンチョウ酒造の社長から「酒蔵群の建物の老朽化が著しく、修繕に多額の費用を要し一企業としての負担の限界を超えており、今後の保存修理が困難であること」「そのため、用地内にある生産に関与しない駐車場や酒造群用地を早急に売却したい」旨の協力要請が、豆田町伝建保存会を通じ豆田地区振興協議会にあり、その要望書が議長宛てに提出されたこと。また併せて市が、〇九年に亡くなった文化功労者「岩澤重夫」画伯記念美術館をこの酒蔵群を中心に計画し「酒蔵群の買収」を進めていくことによります。

一貫して「市民への説明が足りない」「市民の理解が得られていない」「先行取得を急ぐのか」等々の主張がなされ、対応に多くの批判が集まっています。

## 決議案第1号(市議会の決議) クンチョウ酒蔵活用による 美術館構想に慎重な検討を求める決議

クンチョウ酒造群は、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている豆田の歴史的景観を守る上で重要な建造物である。豆田観光のシンボルとして、本市のまちづくりに欠かすことのできない、将来にわたり日田の貴重な文化遺産として永く保存していくべきものである。

現在、市ではクンチョウの酒蔵活用による美術館開設に向け検討を行っているが、この計画は美術館ありきの構想であり、本議会においても各議員から多くの質問がなされたところである。

このことは、市民の大きな関心事にもなっており、十分な議論が尽くされていない現状では、性急に事を進めるべきではなく、日田市の文化施設としての捉え方に立ち、日田市の先哲や博物館構想も踏まえ、多くの市民の意見を反映した計画を策定していくことが必要である。

よって、日田市議会は、再度慎重な検討を行うよう求めるものである。  
以上、決議する。

平成23年3月14日

日田市議会

そのなか議会は全会一致で「クンチョウ酒蔵活用による美術館構想に慎重な検討を求める」決議を行い、さらに市長も「説明会を開き理解を得たのち、計画を進める」との意向を示し、事実上の買収延期になったと受止めています。これを受け所属する経済環境委員会では、「事務の前さばきとはいえ、開発公社と買

収に関わる事業委託契約が交わされ、その説明がなかったこと」への反発や「文化財保護とはいえ買収が一企業の経営支援」という批判が多いこと、「買収が延期になったこと、また酒蔵活用する美術館計画に大きな変更が生じる可能性がある」等々で予算計上されている2千386万円について現段階での必要性がないとして、「減額修正」を全会一致で決めました。  
扱いは、その額を予備費とし、説明会等を通じ「充分な理解が得られたのち」再度議論することとしています。

## 日田市まちづくり会社 設立準備に関する報告書

もう一つの関心事である「まちづくり会社」の設立準備事業委託業務報告書が委員会でも説明されました。  
具体的な論議は今後なされていくと考えていますが解決する問題点も多く含んでいます。受止めています。





平成23年度

予算にみる

主な施策・事業

市政執行の主な項目

(1) 市内の経済を下支えする  
景気・雇用対策

- ・市内の中小企業への緊急金融対策の特別融資制度の継続
- ・需要喚起のため地域商品券発行の支援
- ・各種交付金活用による雇用機会の創出

(2) 楽しく安心して暮らせる  
社会づくり

- ・小中学校の保護者の負担軽減の拡充
- ・障がい者の雇用の場の拡大
- ・農業生産に被害をもたらす有害鳥獣対策の充実
- ・地区公民館の安定した運営体制の確立

(3) 日田の底力を発揮する取  
組み

- ・限地区観光再生等の「活力創造プロジェクト」の継続
- ・魅力ある資源を活かす観光施策の充実
- ・キャノンの工場建設着工の経済波及効果の確立



市内の消費、需要を喚起するため経済団体が発行する「水郷ひたプレミアム商品券」5億5千万円分に対する費用の助成。

予算額 5千450万円

地域商品券発行特別支援事業

ふるさと雇用再生特別交付金事業

大分県創設の基金を活用し、原則1年以上3年未満の雇用契約を結ぶ事業の実施を民間企業等に委託し、雇用の創出を図る。

- ・森の担い手緊急雇用(10名) 5千271万円
  - ・企画・営業体制整備(7名) 2千77万円
- 等、14事業、40名の雇用創出

緊急雇用創出事業

同じく県の基金を活用し、原則6ヶ月未満の雇用契約を結ぶ事業の実施を民間企業への委託、若しくは市が事業を行うことで雇用の創出を図る。

- ・公園管理業務(2名) 262万円
  - ・文化財整理事業(5名) 930万円
  - ・河川状況調査事業(4名) 446万円
- 等、28事業、87名の雇用創出

中小企業振興資金特別融資制度

中小企業の運転・設備資金の保証料の全額補助及び3年間の利子補給をおこなう支援策で21年度からの継続。23年度は新たに10億円の融資枠を設ける。

予算額 11億4千242万円

観光客の誘客を図るため市の観光施設の整備、リニューアルを行うもの。

予算額 1億6千438万円

(内 訳)

- ・椿ヶ鼻ハイランドパーク 1千522万円
  - ・鯛生金山施設改修 1千282万円
  - ・フィッシングパーク 714万円
  - ・烏宿山散策道整備 8千663万円
  - ・ひびきの郷宿泊施設整備 4千167万円
- 等々

観光施設の整備・リニューアル



地域生活道路整備事業

生活に密着した市道の改良、側溝の整備等を行うもので経済対策として実施する。

予算額 4億8千606万円

道路維持費

日常生活上、生活に密着した市道の補修及び側溝の整備を行うもので経済対策として実施。

予算額 2億円

道路維持、整備

雇用対策

# 4.8%増 380億9千万円

## 歳入

|       |          |
|-------|----------|
| 市税    | 75億1千7百万 |
| 地方交付税 | 136億4千万  |
| 国庫支出金 | 49億六千万   |
| 市債    | 39億8千9百万 |

## 歳出

|         |          |
|---------|----------|
| 人件費     | 58億5千8百万 |
| 扶助費     | 67億3千5百万 |
| 普通建設事業費 | 60億8千1百万 |
| 貸付金     | 14億6千6百万 |

## 小中学校教材保護者負担軽減

これまで学級費等で保護者から徴収していた授業で使用する教材費等の購入費用について、一部公費負担を行い保護者の経済的軽減を図るもの。

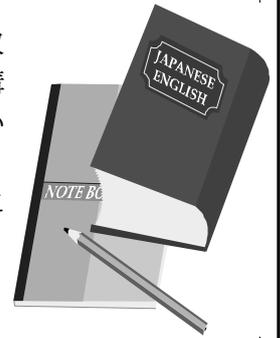
21年度の保護者の負担実態調査により、(平均)

小学校では、年間一人当たり  
11,235円、  
中学校では、年間一人当たり  
25,205円と判明した。

そのため、現在保護者が負担している「テストドリル」「副読本」「練習帳、学習帳」の経費を公費で負担することとしたもの。

これによって、保護者の負担が(平均)  
小学校では、67.5% 7,583円の軽減  
中学校では、48.9% 12,333円軽減される見通しです。

いずれにしても、大変嬉しい施策と受止めています。



## 有害鳥獣対策

近年イノシイ、鹿に加えてアナグマ等によって農作物が多大な被害をこうむっています。そのため農業に対する意欲が減少しているともいわれる、大きな課題になっています。そのため、市ではいくつかの対策を講じます。

### (1) 鳥獣被害防止緊急対策

農地への有害鳥獣の侵入防止のため集落で金網柵や電気柵を設置する。

予算額 7千000万円

(内訳)

- ・鳥獣被害防止柵設置補助  
予算額 6千900万円
- ・有害鳥獣捕獲活動補助  
予算額 50万円
- ・小動物捕獲器・自動撮影カメラ購入  
予算額 49万円

### (2) 獣肉処理施設整備事業

捕獲したイノシシや鹿を処理場を建設することで、これらの肉を商品として流通させことで、捕獲の推進をはかり頭数減を推進する。

予算額 2千632万円

なお、処理場の建設予定地は未定。

## 法定外公共物維持補修事業

70歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、住宅用火災報知器を給付することで、高齢者を火災から守る目的。

設置については地元消防団に依頼の予定であるが、まだ折衝中です。また、65歳以上の高齢者のみの世帯についても介護や身体の不自由な世帯についても検討することになっています。

予算額 2千473万円



## 高齢者住宅用火災警報器給付事業

議会で数回一般質問をし、問題点を指摘していた原資料支給のみでは維持補修ができません。里道や水路で公共性が高いところについて、市が維持補修を行う事業に要望も多く、有効に活用し不便さや危険を解消出来るものと期待しています。

予算額 1千万円

その他の主要事業については、次号お知らせします。

# 心から

## おくやみと

### お見舞い申し上げます

状態にもなっていない  
ます。

前務めていたNT  
Tの時の友人が1

る、まさに日本の非常  
事態となりました。

3月十一日の22年  
度一般会計補正予算の  
委員会審議中に東北地  
方で大地震が起きたと  
聞きました。

休憩時間に、テレビ  
を見ると猛烈な勢いで  
押し寄せている「津波」  
の映像が写し出されて  
いて、「これは大災害  
になる」と心配しまし  
たが予想を超えるもの  
で、死者、行方不明者  
を含め2万人以上、避  
難所に身を寄せる被災  
者は24万人以上に上

さらに福島第一原発  
の事故では、目に見え  
ない放射能による災害  
の恐ろしさを感じてい  
ます。親族が関東にい  
ますが、離乳食を作る  
ための水が手に入らず、  
日田の商店で購入した  
ペットボトルの水を送  
りそれを使い調理する

私はこの苦難をわか  
ちあうため発生時から  
16日まで、いくつか  
ご指摘や批判を頂きま  
したが、全ての活動・  
行動を自粛しました。

また議会でも4月1  
7日からの選挙運動に  
ついては連呼の時間帯

等について自粛する申  
し合わせもおこなって  
います。  
日本は前の大戦で甚  
大な被害をうけました  
が見事復活しました。  
きつとこの災害からも  
立ち直ることが出来る  
と信じています。

まだまだ厳しい状況  
が続いていることが報  
じられています。1  
日も早い復興を心から  
祈るばかりです。

※林業活性化議員連  
盟の各議員の積立金  
の残金約78万円を  
義援金として送りま  
した。

# フラスワン

今一番耳にする  
のは、「仕事にな  
ない、働くところが  
ない」と言うこと  
です。その言葉を  
裏付けるように市  
内の有効求人倍率  
は0.63倍と県  
内でも中位以下で  
す。これをみても雇用  
情勢は如何に厳しいか  
が伺われます。キヤノ  
ンの工場建設着工や九  
州ジーシーの操業  
開始等の若干明るい話  
題はありますが、厳し  
さに変わりありません。  
「緊急雇用創出事業」  
や「ふるさと雇用再生  
特別交付金事業」など  
の施策はありますが、  
意見を聞くとき長く務め  
ることができない、正  
規採用されない等々の  
厳しい声が大半で雇用  
者を満足させるものに  
は程遠いものがありま  
す。働く場を創出する  
ことが今一番緊急の課  
題だと受止めています。  
日田は豊かな自然に  
恵まれています。かつ  
ては、この自然環境を  
いかした林業、製材業  
で繁栄を誇りました。  
今、林業は環境面で高  
く評価され、それを活  
用した仕事の創出を試  
みる自治体も現れてい  
ます。これを何とか日  
田市で実現できないか  
と、考える毎日です。

## 選挙期間中の申し合わせ

今回の大震災を受け、選挙運動について以下のような申し合わせを行いました。

### 連呼時間の短縮

午前9時から午後5時まで

あくまで申し合わせですので、守らない方もいると思いますが、私は苦難を分かちあうためにも順守します。



今回で勇退する同じ社民クラブの「鷹野守男」議員が、先日の議長・副議長選で見事副議長に当選しました。任期はわずかですが重責を負い花道を飾ることになりました。健康で末永く頑張ってもらいたいものです。永い間お疲れさまでした。

## 草地林地一体的総合整備事業

# 天ヶ瀬塚田牛飼育施設建設中止

継続審議となっていた「水郷ひたの水を守る会」からの請願について、経済環境委員会では、再度継続審議としました。

その内容は、県の外郭団体、日田市と事業体である「本川牧場」とで、牛飼育施設の建設計画について「中止」することが決まったこと。さらに汚染された土壌の撤去については、その検査結果が3月の末になることで現段階で判別できないことで継続としました。委員会としては、再度項目を整理した上で請願を出し直してもらいたいと考えています。いずれにしても、住民の意向は環境を守ることであり、それを最大限活かしたいと考えています。